

中学校完全給食推進本部・平成29年度第3回会議 会議録

開催日時 平成29年(2017年)7月20日(木) 10時50分～11時10分

開催場所 災害対策本部室

出席者

(本部長)

市長 上地 克明

(本部員)

教育長	青木 克明	上下水道局長	田中 茂
政策推進部長	上条 浩	政策推進部文化スポーツ担当部長	野間 俊行
政策推進部渉外担当部長	中野 愛一郎	財政部長	竹内 英樹
財政部市税担当部長	菱沼 孝	市民安全部長	小貫 和昭
福祉部長	三守 進	健康部長	惣田 晃
こども育成部長	濱野 芳江	環境政策部長	本多 和彦
資源循環部長	小川 隆	経済部長	秋本 丈仁
経済部観光担当部長	松田 優一	都市部長	井上 透
土木部長	鈴木 栄一郎	港湾部長	服部 順一
上下水道局経営部長	渡辺 大雄	上下水道局技術部長	長谷川 浩市
消防局長	佐藤 正高	教育委員会事務局教育総務部長	阪元 美幸
教育委員会事務局学校教育部長	伊藤 学	選挙管理委員会事務局長	一之瀬 秀行
監査委員事務局長	小澤 充		

(事務局)

教育委員会事務局学校教育部学校給食担当課長 藤井 孝生

同課係長 田中 慎一 同課主任 津田 尊夫

代理出席者

総務部長代理 会計課長 村田 光正

市民部長代理 市民生活課長 小澤 公雄

市議会事務局長代理 市議会事務局総務課 課長補佐 石川 真由美

欠席者

なし

1 開会

【教育長】

ただいまから、中学校完全給食推進本部・平成 29 年度第 3 回会議を開催させていただく。本日は多用の中お集まりいただき、感謝申し上げます。

後ほど事務局から速報として報告させていただくが、中学校完全給食の実施方式について 7 月 18 日に開催した総合教育会議において市長と教育委員が協議した結果、前回の推進本部会議でご報告させていただいたセンター方式、1 カ所整備の案で方向性が一致した。この結果を受け、7 月 21 日に開催する教育委員会定例会において、議決、決定をする予定である。

本部員の皆様におかれては、これまで実施方式の検討にあたって様々な意見や協力をいただき、感謝申し上げます。

また、方式が決まった後は用地の選定などを含め具体的な整備に入っていくので、引き続き協力をお願いしたい。本日の会議では総合教育会議での協議結果について概要をご報告させていただく。

【市長】

中学校完全給食推進本部については今回が初めての出席となるので、一言挨拶をさせていただきたい。

先ほど教育長からも話があったが、7 月 18 日の総合教育会議で、センター方式、1 カ所整備という方向性で教育委員と一致をみた。

就任から 1 週間という短い期間ではあったが、市議会の特別委員会やこの推進本部などの各検討組織におけるこれまでの議論を踏まえるとともに、早期実施、費用を抑えるという点を重視して、私なりに判断をしたものである。

今後もこの推進本部では活発な議論を行い早期実施に向けた検討を行っていきたいと考えているので、よろしくをお願いしたい。

2 案件

- (1) 総合教育会議について（速報）
- (2) その他

◆ 説明（事務局）

- ◇ 「資料 総合教育会議について（速報）」
- ◇ 「参考資料 総合教育会議資料」
 - ・「資料 1 中学校完全給食の実施方式（案）について」
 - ・「資料 2 中学校完全給食の実施方式（案）への意見について」

- ・「資料3 センター方式のデメリット（課題）と対策等について」
- ・「資料4 中学校の昼食のあり方について（概要版）」
- ・「資料5 親子方式に関する各種案について」

総合教育会議では、前回の推進本部会議でも報告させていただいた事務局で作成した実施方式（案）を説明するとともに、6月30日の教育委員会定例会、7月4日の推進本部会議、それから7月7日の特別委員会でもいただいた意見を「資料2 中学校完全給食の実施方式（案）への意見について」のとおり整理し、報告した。

また、資料3から5については、特別委員会において意見などをいただいた項目に対する追加資料として作成した。

併せて、特別委員会では、中学校完全給食推進連絡協議会に対し実施方式（案）の意見を聞かなかったことについてもご指摘をいただいたので、総合教育会議までの間に連絡協議会の構成員に対し電話等で意見を伺い、総合教育会議で口頭ではあるが報告をさせていただいた。

それらの内容を事務局から説明した上で、実施方式について市長と教育委員で協議いただいた。

それでは、資料「総合教育会議について（速報）」をご覧ください。こちらは、総合教育会議での発言内容の要旨を事務局で整理したものである。正式な会議録については後日公開するので、あくまで速報であることを承知いただきたい。

「1 協議結果」について、記載のとおりセンター方式、センター1カ所整備という実施方式（案）で市長と教育委員の方向性が一致した。

「2 実施方式について（発言の要旨）」について、総合教育会議の協議の中で市長、教育委員が実施方式に対する考え方について発言した内容を抜粋し、その要旨を記載した。

市長からは、①全校開始時期の差がなくて早期実施できるのはセンター方式で、1カ所の給食センターを整備することだと考えている、②全校一斉に実施できることは、公平であるという観点から非常に重要なことであると考えている、③できる限り費用を抑えたいと考えておりセンター方式であれば国庫補助を活用できる可能性がある、初期整備費が最も安いわけではないが維持管理運営費は最も安く、長期的に見て費用を抑えることができると考えている、④あらゆる手段を尽くして、早期に給食を提供でき、かつ、費用を抑えられるように努力していきたい、などの発言があった。

教育委員からは、「ア 開始時期」の①や②にあるように、開始時期に差が出る場合の不公平感や一斉に開始できる場合のメリットなどの発言があった。「イ 教育活動の影響」について、①や②にあるように、児童生徒の教育活動への影響や学校現場の負担などを考慮するとセンター方式が最善なのではないか、などの発言があった。また、「ウ 衛生管理」の②にあるように、親子方式の衛生面における懸念についての発言や「エ 食物アレルギー対応、食育」の②にあるように、センター方式では学校とセンターで距離があるので食

物アレルギーの情報管理をしっかりと行う必要があるという発言、それから、「オ 全般」の②にあるように、特別委員会の中間審査報告書に留意したことなどの発言があった。

これらの発言を踏まえて、市長と教育委員が、センター方式、1カ所整備という方向性で一致していることを確認した。

「3 今後の中学校完全給食実施について（発言の要旨）」について、方向性が一致したことを確認した後、今後に向けて市長と教育委員からそれぞれ発言があった。

市長からは、①早期実施に向けて、全部局一丸となって取り組んでいきたい、②まず、具体的な事務としては用地の選定を行わなければならない、③これまで実施方式について様々な意見をいただいております、その想いも分かるが、子どもたちのためを想ってという目指すところは同じだと考えているので、理解いただきたい、④早期に、より良い形で給食を実施できるよう全力を尽くしていきたいと思うので、今後も皆様の協力をお願いしたい、との発言があった。

教育委員からは、①望ましい昼食のあり方を実現できるように取り組んでいきたい、②具体的な運営面に関しても、新たな事業となるので学校現場は不安であると思う、学校現場から意見をしっかりと聴きながら連携して様々な課題をひとつずつ解決し前に進めていきたいと思っている、との発言があった。

◆ 質疑 なし

(2) その他

【事務局】

先ほど説明させていただいたとおり、明日、教育委員会定例会で実施方式が正式に決定される予定だが、実施方式決定後に直ちに方針を決めなければならない案件がいくつかある。そのなかで、まず関係部局の皆様に協力いただかなくてはならないものとして用地の選定がある。用地の選定については、候補となる場所をしっかりと把握した上で条件等を比較し、市として最適な用地を選定していきたいと考えている。近日中に文書で照会させていただきたいと考えているので、協力をお願いしたい。

用地の条件としては、市有地の場合には用途地域は問わないが、国有地や民有地の場合には給食センターを建設可能な工業系の用途地域で一定規模の面積を有するものとなる。昨年実施した委託の調査報告時点では1万㎡程度を想定していたが、多少面積が狭くても対応している事例もある。各部局に照会させていただく際には、具体的に、「〇千㎡以上」と記載したうえで送付させていただきたいと考えている。

【市長】

実施方式決定後は、用地の選定をはじめ、具体的に決めていかなければいけないことが

数多くある。繰り返しになるが、その中でも、私としては、特に早期実施という点に重きを置いているので、教育委員会はもちろん、各部局でしっかりと協力体制をとっていただき、早期実施に向けて、取り組んでいただくようお願いする。

3 閉会

【教育長】

先ほども申し上げたが、明日、7月21日の教育委員会定例会において実施方式を決定する運びである。今後は速やかに具体的な準備を進めていくことになるが、本事業は全市一丸となって進めていく一大プロジェクトであるため、各部局長の皆様には引き続き尽力をお願いすることになる。何卒よろしくお願い申し上げる。

それでは、本日の中学校完全給食推進本部会議を終了する。